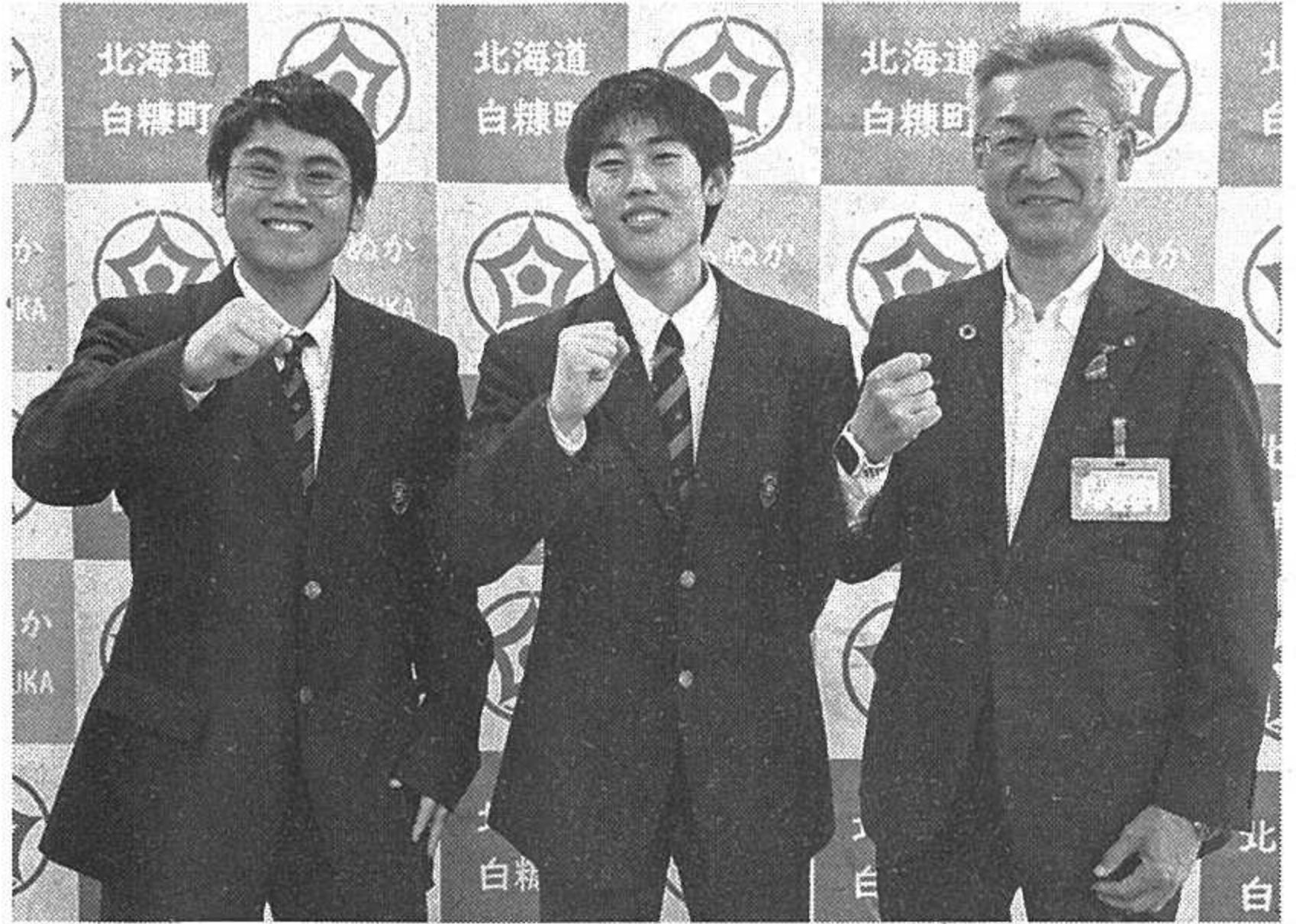




健闘を誓った對木隼祐さんと慎哉さん(左から)

高3年)、慎哉さん(同2年)の兄弟ペアが7日、町役場を訪れ、川島眞澄教育長に大会での活躍を誓った。

2人は5月に釧路市で開かれた釧根支部予選会の男子ダブルスで3位入賞し、全道切符を手にした。昨年の同大会には、2人の兄で長男の一輝さんも、ペアを

組む渡部竜士さんと共に出場している。隼祐さんは「高校では最後の大会なので、これまでの練習の成果を発揮し、家族やチームメイトへの感謝を忘れずにプレーしたい」。慎哉さんは「昨年は個人戦に出られず悔しい思いをした。兄(一輝さん)の意志を受け継ぎ、肩を並べられるよう頑張る」

と意気込みを語った。川島教育長は「町としても、全道出場をうれしく思う。残された時間も集中し、体調を整え一生懸命に頑張ってほしい」と激励した。

(橋本梓)